



「お薬の正しい飲み方について」

～お薬いろいろ～

京都山城総合医療センター

薬剤部

お薬（医薬品）

◎お薬とは、**病気の診断・治療・予防**のために提供される
医薬品のことです。
形態としては、内服薬、外用薬、注射薬などがあります。

・処方箋医薬品

医師の処方箋がなければ、一般の人は
購入できない医薬品。



お薬とは



- ①お薬は病気を予防したり改善したりします。
- ②お薬は患者様が病気を治すサポートをします。
- ③お薬は正しく服用することで最大限の効果を発揮します。
- ④お薬は西洋薬と漢方薬があります。



お薬の主作用・副作用

主作用＝病気を治したり、症状を軽くしたりお薬本来の働きのこと。

副作用＝お薬が原因で、顔や体にブツブツができたり、胃が痛くなるなど、お薬本来の目的以外の好ましくない働きのこと。



お薬の副作用

◎どんなお薬でも副作用はあります。

- ・お薬が発売されるまでには、動物や人で3段階の試験を行って安全性を確認しています。
- ・お薬は販売後、長期間にわたってモニターされています。
- ・ほとんどのお薬で重い副作用が出ることはありません。



お薬の飲む時間

食前：食事前約30分

食後：食事後約30分後

食間：食事と食事の間（食事後約2～3時間後）

食直前：食事の5分前～直前

食直後：食後5分以内

頓服（とんぷく）：症状が出たときだけ

お薬の飲む時間

お薬を入れる薬袋の裏側にも飲み方が書かれています。

ご 注 意

- ・表記のみかた
食前－食事前約30分
食後－食事後約30分
食間－食事後約2～3時間
- ・指示された用法は、正しくお守り下さい。
- ・お薬は、小児の手に届かないところに保管して下さい。
- ・このお薬についてわからない時は、薬剤部におたずね下さい。

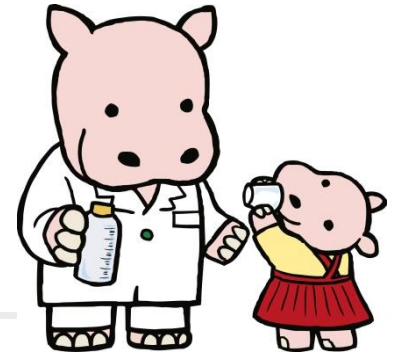
服用の確認に下記の欄をご利用下さい。

< 服薬 確認表 >

日付	/	/	/	/	/	/	/
朝 ()							
昼 ()							
夕 ()							

日付	/	/	/	/	/	/	/
朝 ()							
昼 ()							
夕 ()							

お薬の正しい飲み方



- ①お薬はコップ1杯以上のお水か、ぬるま湯で服用しましょう。
- ②原則、錠剤を砕いたりカプセルから薬を取り出すことはやめましょう。
- ③ジュースや牛乳などでお薬を飲むと、味が変わったり、吸収が悪くなったりすることがあります。
- ④飲み忘れても一度に2回分を飲んではいけません。



お薬の飲ませ方

◎簡易懸濁法

- ・錠剤粉砕やカプセルを開封せずに、錠剤・カプセル剤をそのまま温湯(約55°C)に崩壊懸濁させて投与する方法

- ・メリット

粉砕による医薬品ロスの改善

投与する直前までお薬の確認ができて安全

お薬が中止・変更になった時にも対応しやすい

分からないことがあれば調剤薬局の薬剤師までお聞きください。

漢方薬



- 漢方薬－患者様の体質を考慮しながらさまざまな生薬を合わせた医薬品
 - ・有効成分が多くいろいろな効果を発揮します。

- 飲み方は「食前」または「食間」です。
 - ・胃の中が空っぽになっている空腹時が一番吸収が良くなります。

- 漢方薬にも副作用はあります。



湿布薬の使い方



- ◎湿布薬にはパップ剤とテープ剤があります(効き目に違いはありません)
- ◎湿布薬には冷感シップと温感シップがあります(急性疾患と慢性疾患で使い分けましょう)
- ・1日1回または2回の貼りかえで十分効果を発揮します。
- ・長時間湿布を使用することでかぶれることがあります。貼っている時間を短くすることで予防できます。



ジェネリック医薬品

- ・ジェネリック医薬品とは先発医薬品（新薬）の特許期間が切れた後に、別の医薬品メーカーが製造する医薬品のこと。
- ・「後発医薬品」とも呼ばれています。
- ・先発医薬品と同じ成分で同等の効き目になっています。
- ・薬価は先発医薬品の約2～5割に設定されています。

お薬の相互作用



◎代表的なものとして納豆とワルファリン(抗血液凝固薬)

- ・ワルファリンは**ビタミンKを阻害**することで薬としての効果を発揮します。
- ・そのため、納豆などビタミンKを多く含む食品を食べた場合ワルファリンの作用が弱まってしまいます。

分からないことがあれば調剤薬局の薬剤師までお聞きください。

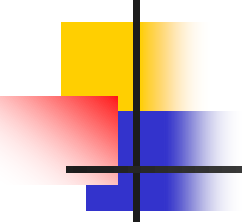
お薬の相互作用



◎グレープフルーツと**降圧薬(カルシウム拮抗薬)**

- ・グレープフルーツに含まれる“**フラノクマリン**”が、血圧を下げる治療薬「カルシウム拮抗剤」の効果を增強します。
- ・これらのお薬を服用している場合はグレープフルーツの摂取は止めましょう。

分からないことがあれば調剤薬局の薬剤師までお聞きください。



京都山城総合医療センターのホームページ内に
この資料を掲載しています。

<http://www.yamashiro-hp.jp/>